平成２２年度　地域活性化事業交付金　交付決定事業実績　【小山地区】

平成23年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業実績の概要				交付決定	交付金額
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価	年 月 日	（単位：円）
小山広報協議会	小山広報発行事業	小山地区内で活動する団体は、様々な広報紙により事業周知が行っているが、この場合、個々の情報が埋もれてしまうといった現状があり、こうした現状を打開するため、『おやま広報』を発行し、活動内容や事業の周知を行うことにより、地域の活性化を図る。	『おやま広報』 第1号～5号 A4版4ページ(内2P分カラー) 毎回6,000部発行 (発行前　編集会議毎回5回程度実施)	①地域課題に取組む自治会活動を掲載し自治会の加入促進に貢献した。 ②地域課題に取組む公的活動を掲載し担い手育成に貢献した。 ③地区内の有益な公共的情報を一括周知することにより参加者の増加に貢献した。 ④公共的活動などを周知することにより団体の育成や連携強化に貢献した。	小山地区内の公共的行事等を中心とする情報については、各公的団体が個別に情報発信をしており集約されていないため、読者である住民にとっては不便な面があった。そこで小山地区の情報を一括してまとめた『おやま広報』 を発行することによって住民が情報を把握活用し易くなり地域活性化が図られた。	H22.7.1	640,000
宮下自治会	青少年の健全育成に関する事業	子ども（保護者を含む）の農業体験を通じた次世代を担う人づくり、子ども会入会者の増加、世代間コミュニケーションの促進、地域コミュニティの活性化、社会福祉の推進を図る。	農家及び子ども会等との打合せ、畑作り、トウモロコシ、サツマイモ、里芋、落花生、大根、長ネギ、白菜、春・秋ジャガイモの栽培と収穫及び、福祉施設等への収穫物を通して交流、更に秋に収穫祭・文化祭を実施。	①地区自治会地域の子どもたちが農業体験を通じて、農作業への理解が深まった。 ②地域の福祉施設との交流が出来た。 自治会と子ども会・育成会との親密度が増した。 ③収穫祭イベントと文化祭を同時開催し参加者の増加を図った。	地区自治会地域の子ども会とタイアップし、農業体験を通じて働く大変さ、収穫の喜び、食の大切さを学んだ。また、地域のお年寄りや福祉施設入居者等にも参加を呼び掛け世代間の交流や弱者へのいたわり等も学び、地域の振興が図られ、地域の公共的団体の担い手発掘にもつながった。	H22.7.1	335,000
宮下自治会	地域及び地域活動の情報発信及び広報に関する事業	広報誌等を利用し、自治会活動を幅広く情報発信することにより、諸活動への参加者増加を図る。また、共同住宅居住者に多い自治会未加入者の加入促進を図る。	①みやしも自治会だより　2号～5号 A4版4ページ(カラー) 毎回 2,400部発行 ②みやしも自治会だより 　特別号・自治会加入促進版　1号～2号　A4版4ページ(カラー) 毎回 4,400部発行 ③自治会加入パンフレット A5版16ページ(カラー) 2,000部発行	①自治会だよりのカラー化により読みやすくなったとの意見が多い。 ②自治会加入促進版を見て自治会未加入者から問い合わせがあり、実際に加入につながった。 ③自治会加入パンフレットを加入促進ツールとして活用できるようになり、自治会内で加入促進に関しての意見・討議が活発になった。	自治会内地域住民を対象に、自治会活動を幅広くPRし、諸活動への積極的な参加を促し、自治会未加入者の加入促進を進め、自治会活動を活発化させるなど地域全体の活性化が図られた。	H22.7.9	747,000
ばんばんフェスタ実行委員会	ばんばんフェスタ（青少年健全育成事業）	本事業は地域内の小中学生が自ら事業に関わり、実行委員会を組織し、企画立案・運営を保護者や地域住民と話し合いを重ねながら実施する体験活動である。ｴｺ推進活動やﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ大会の地域活動に参画し、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを活発にすることで地域の活性化を図る。	子ども実行委員会の立ち上げ。公民館への植栽。米軍と共催でJR相模原駅周辺のｴｺｸﾘｰﾝ作戦。サツマイモ等の苗床作り（落葉収集は米軍と共催）。 ばんばんﾌｪｽﾀﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ大会の実施（その他実行委員会10回、準備会10回以上実施）	①地域の仲間づくりと地域活動参画の動機付けとなった。 ②子どもたちは体験を通して多くの地域住民と交流できた。 ③地域は楽しく安心できる居場所であることを実感できた。 ④地域には自分に出来ることがある、地域で自分は役に立つことができる、ということに気付いた。 ⑤コミュニケーション力を発揮する機会となった。	本事業を継続することにより人や社会とのつながりを築く力やコミュニケーション力、人間力の向上、さらに地域の安全安心に貢献できたと考えている。	H22.9.1	235,000
							1,957,000